

## 議題1 役員の選任について

令和2年度の役員(案)を下記のとおりお諮りいたします。

## 記

## 江戸川区居住支援協議会役員(案)

	組 織 名	令和元年度	令和2年度
会 長	都市開発部住宅課	植田 光威	田島 勉
副会長	(公社)東京都宅地建物取引業協会 江戸川区支部	武松 伸人	武松 伸人
副会長	(公社)全日本不動産協会 東京都本部 江戸川支部	矢作 憲一	矢作 憲一
監 事	(福)江戸川区社会福祉協議会	山崎 実	山崎 実

任期は令和3年3月31日までとする。

以上

## 議題2 令和元年度事業報告

### 1 協議会の開催

協議会構成員間での居住支援や生活支援の取組みに関する情報交換をするとともに連携を図った。

#### <実施概要>

- 第1回 令和元年7月8日(月)
- 第2回 令和元年9月9日(月)
- 第3回 令和2年3月(書面開催)

### 2 住宅住み替え相談会の開催

入居前の支援の一環として、区内の施設などで相談会を開催。

#### <実施概要>

- 第1回(令和元年 7月27日(土), 相談10件)
  - 第2回(令和元年 9月29日(日), 相談7件)
  - 第3回(令和元年 11月30日(土), 相談6件)
  - 第4回(令和2年 1月19日(日), 相談6件)
- 計: 相談者29件(高齢者: 19件、低所得者: 8件、子育て世帯: 2件)

### 3 セミナーの開催

住宅セーフティネット制度周知・普及、セーフティネット住宅登録促進のために、民間賃貸住宅のオーナーや事業者向けにセミナーを開催。

#### <実施概要>

- 第1回(令和元年10月21日(月))
- セミナー名: 江戸川区居住支援セミナー
- 内容: 講演1: 住宅セーフティネット制度の概要について  
講演2: 居住支援法人東京ソテリア支援内容紹介  
講演3: 区の居住支援施策紹介
- 参加者: 8名(賃貸住宅オーナー、事業者8名)

- 第2回(令和元年12月5日(木))

セミナー名: 江戸川区居住支援セミナー

- 内容: 講演1: 高齢化社会が賃貸市場に与える影響とその対応策  
講演2: 精神障害がある方への居住支援について
- 参加者: 23名(賃貸住宅オーナー、事業者12名、居住支援法人2名、区関係者4名、他自治体職員5名)

#### 4 居住支援協議会リーフレット作成

住宅セーフティネット制度、区の居住支援サービスを周知するリーフレットを作成し、区施設などで配布。2000部作成。

<パンフレット内容>

- ・民間賃貸住宅家賃等助成
- ・生活困窮者自立支援「住居確保給付金」
- ・精神障害者の居住支援サービス
- ・「熟年者に親切な店」事業内容
- ・熟年相談室、なごみの家の紹介
- ・居住支援協議会について
- ・セーフティネット住宅の登録の紹介
- ・不動産取引問題に関する相談について

#### 5 民間賃貸住宅に関するアンケート調査

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居促進に関して、宅地建物取引業者の賃貸状況や意向を調査。

東京都宅地建物取引業協会江戸川区支部と全日本不動産協会東京都本部江戸川支部の732会員にアンケートを送付した。

#### 6 居住支援に係る包括連携に関する協定の締結

区、公益社団法人東京都宅地建物取引業協会江戸川区支部、公益社団法人全日本不動産協会東京都本部江戸川支部、ホームネット株式会社の4者で、民間賃貸住宅への居住支援に関する課題の解決に向けて連携することとし、居住支援に係る包括連携に関する協定を締結した。

以上の内容をもとに、国土交通省へ実績報告を行い、国庫補助金を受け入れた。

## 議題3 江戸川区居住支援協議会 令和元年度決算報告

事務局である住宅課が一般会計より会計事務規則に則り、支出処理など対応を行った

単位：円

収 入	予 算 額	決算額
国庫補助金 【重層的住宅セーフティネット構築支援事業】	535,000	273,825
合 計	535,000	273,825

単位：円

支 出	予 算 額	決算額
謝礼金 ・居住支援セミナー 講師謝礼 ・住宅相談会 相談員謝礼	286,000	120,000
印刷製本費	107,000	106,700
通信運搬費 ・アンケート調査郵便料	123,000	47,125
会議費 ・会場使用料 ・会議賄	19,000	0
合 計	535,000	273,825

## 議題4 令和2年度事業計画（案）

### 1 協議会の開催

協議会構成員間での居住支援や生活支援の取組みに関する情報交換をするとともに連携を図る。

- <開催時期> 第1回 令和2年7月（書面開催）  
第2回 令和2年9～11月  
第3回 令和3年3月

### 2 住宅住み替え相談事業の開催

入居前の支援の一環として、民間賃貸住宅の住み替えに関する相談事業を開催する。

- <開催時期> 第1回 令和2年9～10月  
第2回 令和2年11～12月  
第3回 令和3年1～2月

### 3 セミナーの開催

住宅セーフティネット制度周知・普及、セーフティネット住宅登録促進のために、民間賃貸住宅のオーナーや事業者向けにセミナーを開催する。

- <開催時期> 第1回 令和2年10月  
第2回 令和2年12月 セミナーの内容は検討中

なお、上記事業の実施方法、時期については新型コロナウイルスに関する状況などを含め適宜、検討を行うものとする。

## 議題5 江戸川区居住支援協議会 令和2年度予算(案)

事務局である住宅課が一般会計より会計事務規則に則り、支出処理など対応を行う

単位：円

収 入	予 算 額
国庫補助金 【共生社会実現に向けた住宅セーフティネット機能強化・推進事業】	368,000
合 計	368,000

単位：円

支 出	予 算 額
謝礼金 ・居住支援セミナー 講師謝礼 ・住宅相談会 相談員謝礼	286,000
通信運搬費 ・会議など通知郵便料	63,000
会議費 ・会場使用料 ・会議賄	19,000
合 計	368,000

## 議題6 その他連絡事項

## 「空き家実態調査」の実施について

今年度、住宅課において区内全ての民間建築物について、現地調査を行う。区内の空き家や老朽家屋の状況を把握するとともに、空き家の所有者に対する現状や意向を確認し、今後の空き家の利活用に向けた取り組みを促進するための資料とする。

本調査の実施で明らかになった空き家を、要配慮者向け住宅として活用することも視野に入れ調査を進めていく。

## 実施内容及びスケジュール

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施内容		← 現地調査 →		所有者特定 現状・意向確認				調査結果集計 報告書作成	→